

鹿児島県感染症情報

2022年 第15週報 (4月11日~4月17日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、4月17日時点での届出総数は55202例です。県内の新規感染者は一日あたり新規患者数の変動が大きい状況が続いています。行楽日和で心地よい時期なので何かと心が緩みがちですが、新型コロナウイルス感染症への対策は油断なく徹底してください。さて、新型コロナウイルス感染症は、動物から人に感染する「動物由来感染症（人獣共通感染症）」の一つです。

動物から人へ、人から動物へ伝播可能な感染症を人獣共通感染症（ズーノーシス）といいます。全ての感染症のうちその約半数は人獣共通感染症（WHOで確認されているものは約150種、日本にはこのうち約50種が存在）といわれ、その種数は年々増加しています。人々の活動が温暖化や森林破壊等の環境変化を引き起こし、動物の生態系や行動圏に影響を与え、病原微生物の自然宿主である野生動物と人との接触機会が増えることで、「人獣共通感染症」の発生が世界各地で報告されています。人、動物、環境の衛生に関わる人達が連携して取り組む One Health（ワンヘルス）という考え方が世界的に広がっています。取り組む人の側も、それぞれの分野、管轄の壁を越えた連携と協力が欠かせません。薬剤耐性（AMR）対策にもこの考え方が導入されています。

第15週に重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の届出が2例ありました。本症はSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染します。4~10月に届出が多いのはマダニの活動時期にあたるためです。下図には国立感染症研究所がとりまとめた「全国におけるSFTS届出の月別推移」を示してありますので参照してください。



本疾患は平成25年（2013年）3月から全数報告疾患となりました。本県における届出状況は、左下表のとおりとなっています。

マダニは全国的に分布し、主に森林や草地等の野外に生息していて、市街地でも見ることがあります。ある自治体が行った各種動物におけるSFTS感染状況を見ると、ノウサギ、アライグマ、アナグマ、ハクビシンが上位を占めています。マダニが生息する場所に立ち入る際は、長袖、長ズボンを着用するなどマダニに咬まれないように注意してください。

SFTS患者の体内においてウイルス感染の標的となる細胞は、抗体産生細胞へ分化しつつあるB細胞であることが発見され、今後のさらなる発病機序の解明と新たな予防・治療法の開発が期待されています。

第15週の定点報告疾患の総報告数をみると、第12週以降、4週連続で流行発生警報域及び流行発生注意報域の疾患はありませんでした。手足口病と突発性発しんは3週連続で増加しました。なお、全数報告疾患では梅毒が第9週以降連続で届出があり、第15週時点での届出数は40例となりました。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

※ 第17週報、第18週は合併号で5/13（金）発行予定です。

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核2例（肺結核2例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例
五類感染症	後天性免疫不全症候群1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例 追加梅毒2例：第14週（2例）
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症4488例

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点90、小児科定点52です。（通常より各2減）
- ・第15週の定点把握対象疾患の総報告数は341人で、前週より19人少ない報告数でした（4頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第15週の感染性胃腸炎の報告数は256人で、前週より38人少なく、定点当たりの報告数は4.92であった。

年齢別では、1歳（60人）、2歳（41人）、3歳（24人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（9.92）、始良保健所（6.50）、指宿保健所（6.00）の順に多い。

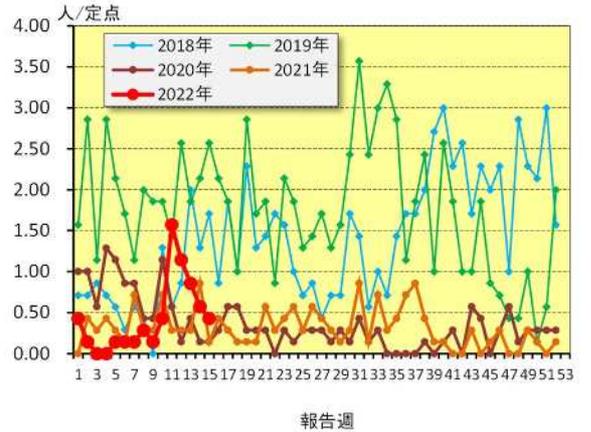


(2) 流行性角結膜炎

第15週の流行性角結膜炎の報告数は3人で、前週より1人少なく、定点当たりの報告数は0.43であった。

年齢別では、30～39歳、60～69歳、70歳以上（それぞれ1人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（1.00）、鹿児島市保健所（0.50）の順に多い。

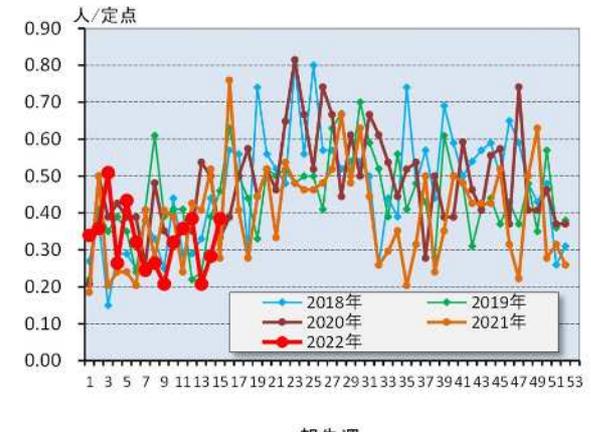


(3) 突発性発しん

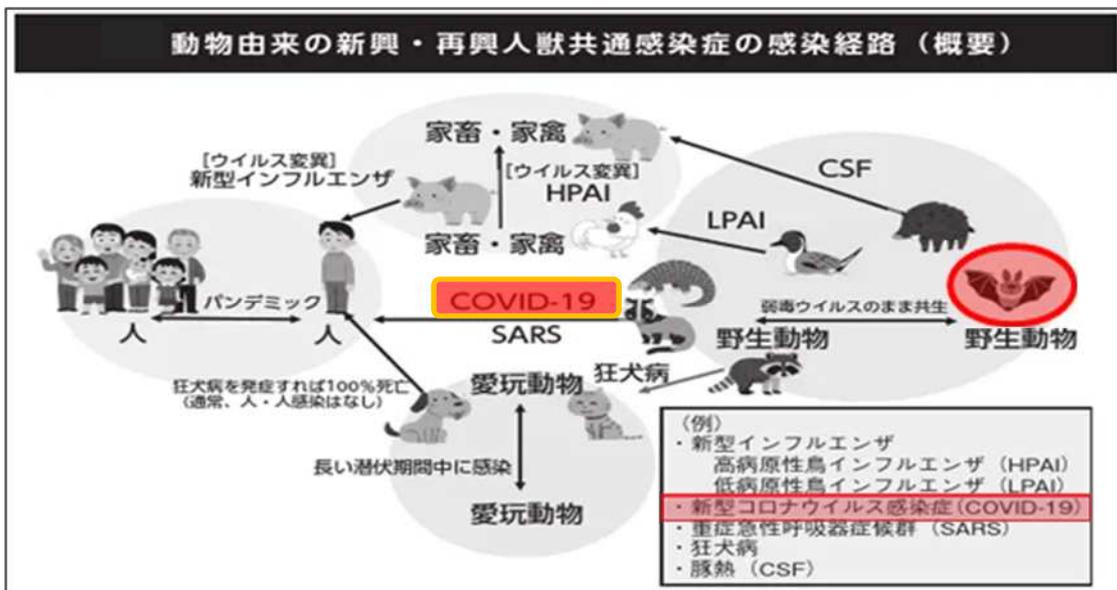
第15週の突発性発しんの報告数は20人で、前週より5人多く、定点当たりの報告数は0.38であった。

年齢別では、1歳（11人）、6～11ヶ月、2歳（それぞれ4人）3歳（1人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（0.75）、加世田保健所、志布志保健所（それぞれ0.67）、鹿児島市保健所（0.54）の順に多い。

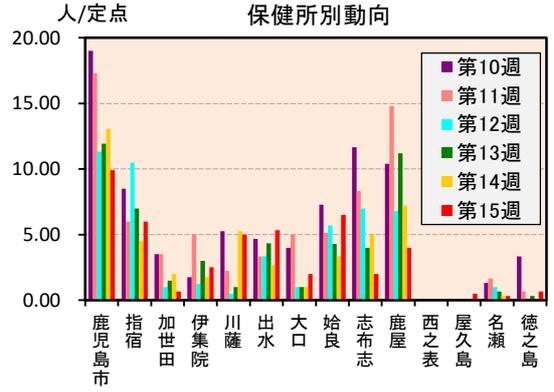
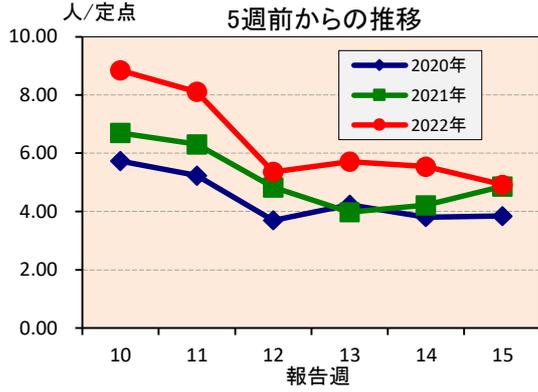


【新型コロナウイルス感染症関連情報】

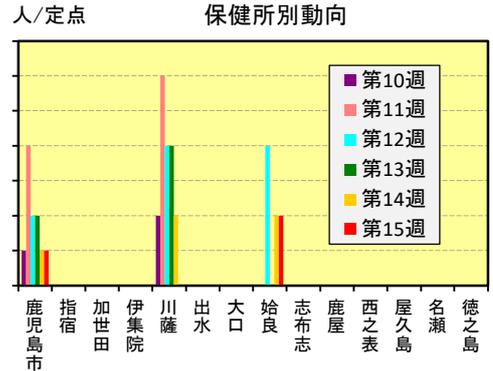
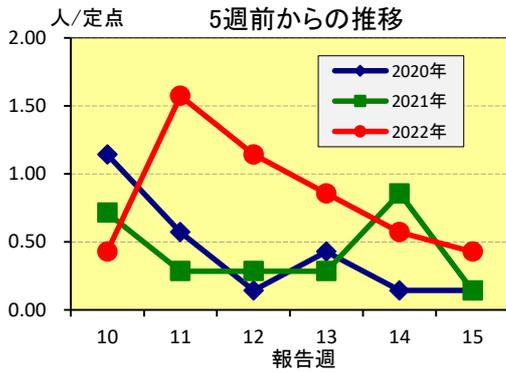


上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

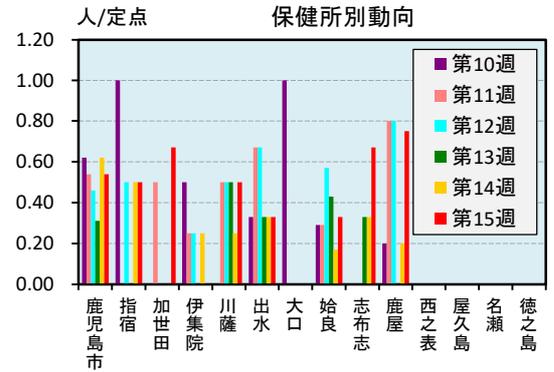
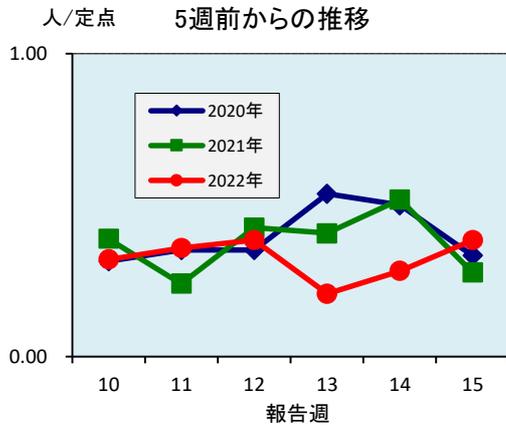
(1) 感染性胃腸炎



(2) 流行性角結膜炎

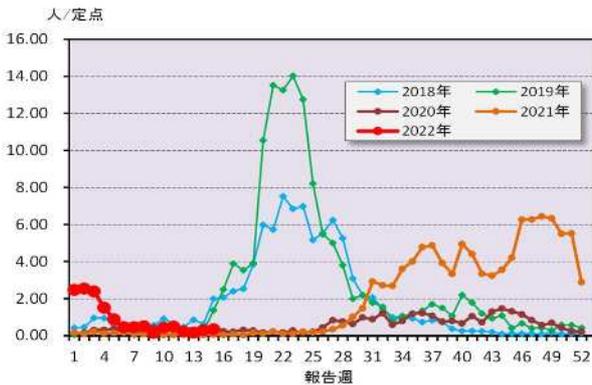


(3) 突発性発しん

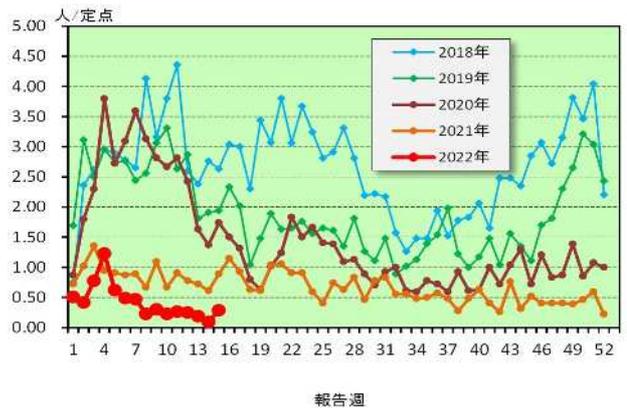


☆注目される感染症の発生状況

★ 手足口病 (鹿児島県)



★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第15週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	11
小児科定点	咽頭結膜熱	7	0.13	387
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.29	336
	感染性胃腸炎	256	4.92	6,042
	水痘	7	0.13	81
	○ 手足口病	18	0.35	709
	伝染性紅斑	2	0.04	12
	○ 突発性発しん	20	0.38	258
	○ ヘルパンギーナ	7	0.13	70
	○ 流行性耳下腺炎	2	0.04	28
眼科定点	RSウイルス感染症	4	0.08	675
	急性出血性結膜炎	-	-	-
基幹定点	流行性角結膜炎	3	0.43	45
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	1
	無菌性髄膜炎	-	-	3
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	2
報告数合計		341	0	8,660

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
		(2022年10週)	(2022年11週)	(2022年12週)	(2022年13週)	(2022年14週)	(2022年15週)
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	22	22	3	1	4	4
	定点当り	0.42	0.42	0.06	0.02	0.08	0.08
咽頭結膜熱	報告数	31	21	13	13	12	7
	定点当り	0.58	0.40	0.25	0.25	0.23	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	12	14	13	10	5	15
	定点当り	0.23	0.26	0.25	0.19	0.09	0.29
感染性胃腸炎	報告数	469	430	279	303	294	256
	定点当り	8.85	8.11	5.37	5.72	5.55	4.92
水痘	報告数	-	11	3	4	7	7
	定点当り	-	0.21	0.06	0.08	0.13	0.13
手足口病	報告数	23	26	12	9	16	18
	定点当り	0.43	0.49	0.23	0.17	0.30	0.35
伝染性紅斑	報告数	-	-	1	-	2	2
	定点当り	-	-	0.02	-	0.04	0.04
突発性発しん	報告数	17	19	20	11	15	20
	定点当り	0.32	0.36	0.38	0.21	0.28	0.38
ヘルパンギーナ	報告数	2	1	3	2	-	7
	定点当り	0.04	0.02	0.06	0.04	-	0.13
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	1	2	1	2
	定点当り	0.02	0.06	0.02	0.04	0.02	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	3	11	8	6	4	3
	定点当り	0.43	1.57	1.14	0.86	0.57	0.43
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	1	-	-	-	-
	定点当り	-	0.08	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年15週(04月11日～04月17日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹						
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り					
鹿兒島市	-	-	2	0.15	3	0.23	7	0.13	15	0.29	256	4.92	7	0.13	18	0.35	2	0.04	20	0.38	
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.15	129	9.92	4	0.31	8	0.62	1	0.08	7	0.54	
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	12	6.00	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.33	-	-	-	2	0.67
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	10	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	2	0.67	-	-	1	0.33	16	5.33	2	0.67	-	-	-	-	-	1	0.33
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	1	0.17	-	-	-	-	1	0.17	39	6.50	-	-	-	-	1	0.17	-	2	0.33
志布志	-	-	1	0.33	1	0.33	1	0.33	5	1.67	6	2.00	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67
鹿屋	-	-	-	-	1	0.25	-	-	2	0.50	16	4.00	1	0.25	6	1.50	-	-	-	3	0.75
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	定点当り	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)											
総数	7	0.13	2	0.04	3	0.43	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
鹿兒島市	7	0.54	1	0.08	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指宿	-	-	-	-	
加世田	-	-	-	-	
伊集院	-	-	-	-	
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
出水	-	-	-	-	
大口	-	-	-	-	
始良	-	-	1	0.17	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
志布志	-	-	-	-	
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西之表	-	-	-	-	
屋久島	-	-	-	-	
名瀬	-	-	-	-	
徳之島	-	-	-	-	

